

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

6月28日 第53回岡山県生協連通常総代会が開催されました。(オルガホール)

総会は、代議員61名、オブザーバー2名の出席のもとで開催され、来賓に岡山県、県労福協、日本生協連のご臨席をいただき、石井県知事のメッセージをはじめとして、励ましや連帯の言葉をいただきました。また、政党・国会議員や県内の協同組合、全国の生協などから祝電・メッセージを頂戴しました。議案は1～5号議案まで、賛成多数で可決・承認されました。最後に総会決議を採択して2012年度の活動がスタートしました。総会後に開かれた第1回理事会では、専務理事を互選し、三役体制を強化しました。

来賓のみなさま

公私ともに多忙な中をご臨席いただきましたご来賓の皆様、祝電・メッセージ等をお寄せいただきました多くの方々にお礼を申し上げます。



▲岡山県県民生活部くらし安全安心課 総括参事
山下 祥嗣氏



▲岡山県労働者福祉協議会
会長 高橋 徹氏



▲日本生活協同組合連合会
中四国地連 事務局長
人見 昭生氏



ごあいさつ

岡山県生活協同組合連合会
会長理事 安場 靖

東日本における巨大地震と大津波、そして福島第一原発の事故が発生して1年と4か月が経ちました。今なお困難な日々を送りながら懸命に踏ん張っておられる被災地の人たちに対して、物心両面での支援を継続して取り組んでおられる会員生協の皆さまに、心より敬意を申し上げます。

東電福島第一原発事故で、国会が設置した事故調査委員会は、7月5日、「事故は自然災害ではなく、明らかに人災だった」との報告書をまとめました。政府は、事故原因も未解明であり、福島県だけでも、原発事故以来の避難者は未だ16万人以上と報じられているも、大飯原発再稼働の道を選びました。この道に汚染地域での除染と損害賠償を速やかに進め、

再生可能エネルギーへの転換の展望は果たして開かれていくのでしょうか。

ところで、今、原発問題以外にも、税と社会保障、TPP(環太平洋連携協定)、オスプレイ配備といったことが大きな政治問題になっています。どれもこれも私たちのくらしと経営にとって切っても切れない問題です。中山間地を含む地域の疲弊、子どもから高齢者に至るまで、社会保障の貧困化は切実です。にもかかわらず、消費者・国民のコンセンサスを得られる状況はつくりられているのでしょうか。大変心配されます。

溢れる情報の中で、何をどう選択し、自ら判断できる力を養うことは、生協の成すべき役割の一つとして大切にしたいものです。

第53回県生協連の通常総会では、国連が定めた「国際協同組合同年」である今年を、生協にとっても特別な年と位置づけ、県民の福祉の向上と健康のために、消費者行政の充実と消費者力向上のために、また、農業・食料、環境・エネルギー問題と併せて、安心してくらする平和な社会を実現するために、他の協同組合などと連携・連帯して取り組みを進めていくことを確認しました。

生協(協同組合)が、困難な事業経営を乗り越え、くらしを守り、豊かな助け合いのこころを育もうとする人たちにとって、大きな支えとなることを期待されています。

これからも、ご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

県連総会では、6人の代議員から、いきいきとした取り組みや活動報告が行なわれました。



岡山大学生協
越智 洋瑛代議員
「保護者の不安に応える安全安心な生協らしいお部屋紹介」



津山医療生協
中西 孝代議員
「津山の協同組合の取り組み ～TPPのシンポジウムを通して」



グリーンコープ生協おかやま
黒田 明穂代議員
「地域に広がる組合員活動について」



岡山医療生協
緋田 博代議員
「玉野地域でのサロン活動」



おかやまコープ
森本 温美代議員
「2012年度、みんなで一緒にすすめること」



倉敷医療生協
阿藤 幸雄代議員
「新支部結成の苦労と喜び」



総会決議(案)が津山医療生協の藤本一予さんより朗読提案され、拍手で承認された。



永年勤続表彰
4生協36名を代表して、岡山医療生協の木村 美加(きむら みか)さんに授与。

他団体とともに

◆NPO法人消費者ネットおかやま第5回通常総会

【6月2日(土) 13:30～岡山県生涯学習センター】

総会では、引き続き、消費者被害情報の収集と調査・分析を行っていくこと、公共・民間など諸団体からの講師派遣依頼には当会の設立趣旨に沿って積極的に応えていくこと、引き続き補助事業の受託を始め、被害事例の検討、申し入れ活動などの実績づくりに挑みながら、当会の財政・組織基盤を強化することなどについて確認しました。また、2012年度の役員(理事15名、監事3名)が選任されました。総会後の第1回理事会で三役の互選が行なわれ、引き続き河田弁護士が理事長に就任しました。



◆消費者月間記念講演会 【6月2日 15:00～岡山県生涯学習センター】

NPO消費者ネットおかやまと岡山県消費者団体連絡会との共催で開催し、消費者団体、生協、司法関係など11団体60名の参加がありました。

講演会は、昨年の東電福島原発事故以後、放射性物質と「食」をめぐる問題が消費者の関心を高めているも、溢れる情報をどう受け止め、理解し、選択し、暮らしに活かすことができるのか、安心して暮らしたいと願う消費者自身の要望に応えたもので、「食の安全安心と情報の読み解き方を考える～放射能汚染を事例に～」をテーマにフリーの科学ライターの松永和紀さんが講演しました。

東電福島原発事故以後、放射能による人体へのリスクについて、一般視聴者である私たちはメディアの提示する情報を鵜呑みにしがちでした。メディアが発信する情報を鵜呑みにせず、情報を自ら多角的に収集し、冷静に学び考え、「顕微鏡の眼」と「俯瞰の眼」を育てることが、私たち消費者にとって大切なことであるということ、今まさに消費者力を発揮するときであるということをお教わりしました。



寄せられた感想

- ▶メディアリテラシーのことなど、大切なことを教えてもらいました。食品だけでなく、何を正しいと見て生活していくのか、しっかり見つめて判断したいと思います。
- ▶情報を鵜呑みにせず、正しいものか、多角的な視点で見ること。食品に関しては他のリスク管理もしっかりする必要があることをあらためて学ばせていただきました。
- ▶報道される情報が、作られた“現実”であることはもちろん理解していましたが、この放射能汚染のことにに関して、聞く機会が得られ、誤解も解けたし、何に気をつけて考えればよいかよくわかった。

第31回 岡山県民「平和のつどい」開催される

Peace Peace Peace 2012

子どもたちに平和な未来を

ゲストに佐々木祐滋さん、土屋圭示さんを招き、7月7日（土）おかやまコープオルガホールにて開催。

今回は「子どもたちに平和な未来を」をテーマとして、子どもから学生も含め世代を超えた取り組みを進め、つどいには約300名が参加。松井一實広島市長、田上富久長崎市長をはじめ、岡山県内の平和市長会議加盟の12市から核兵器廃絶への想いと運動への励ましのメッセージを寄せていただきました。また、松井一實市長にはビデオレターで「2020年までに核兵器廃絶に取り組んでいること、県民平和のつどいへの賛同の声」を寄せていただきました。



司会の吉田さん(左)と福井さん(右)



平末会長

Peace Peace Peace 合唱団の元気な歌声でオープニングを飾り、岡山市原爆被爆者会の平末豊会長が、開会挨拶を行ないました。

Peace Peace Peace 合唱団の元気な歌声でオープニングを飾り、岡山市原爆被爆者会の平末豊会長が、開会挨拶を行ないました。

合唱 ▶▶▶▶▶ Peace Peace Peace 合唱団

合唱団を募集し40数名が参加をしてくださいました。「女性も男性も子どもも大人も同じステージに立ち、歌をうたってとても素敵でした。平和の象徴でした。」「いろんな年代の方の歌を聞き、感動しました。」「多数の力強い合唱 思わず私は口ずさんでいました」



ピース・トーク ▶▶▶▶▶ 土屋圭示さんと3人の学生 ～参加者アンケートから～



ピーストークでは、岡山県原爆被爆者会副会長の土屋圭示さんと岡山大学、関西高等学校学生3人の参加で行なわれました。司会はおかやまコープ全体理事の宮本紀子さん。

「若い世代の方の想いにふれてよかったです」「それぞれが違う体験を通しての平和の想いをお聞きできてとても良かったです。」「若い方々のこれからの平和を希求していく姿をみて勇気づけられました。」「若い世代の皆さんがいろんなきっかけで平和について考えるようになり、伝えていく役割が自分たちにはあるんだと考え、前向きに活動されているのが素晴らしい。」

みみんこ 演舞 ▶▶▶▶▶ ～参加者アンケートから～

ステージいっぱい60名の演舞 「みみんこの方の踊りはとても元気がよくてよかったです。会場の雰囲気活気づいたと思います。」「力強い踊りと歌に始まり、見ごたえがありました。」「街角にたむろし、輝きのない目の若者に、日本の未来に悲しみを思っていたけれど、輝く日本を託したく思った」(70歳の方)



ライブコンサート ▶▶▶▶▶ 「INORI」 佐々木祐滋さん

ライブコンサートでは、12歳で亡くなられた佐々木禎子さんのお話や、禎子さんの想いを綴った「INORI」と家族の想いをもとに作られた「NEGAI」を含む5曲を歌い、「とても心に響いてよかった」「歌詞に込められた想いがひしひしと伝わってきました」など感想が出されました。また、「未来の子どもたちに、にくしみではなく希望を伝えたい」と活動を続けている祐滋さんに対する共感の声がたくさん寄せられました。



佐々木祐滋さん

合唱 ▶▶▶▶▶ 岡山合唱団・岡山のうたごえ協議会 ～参加者アンケートから～

原発・安全を求め想いをこめて作られた曲が参加者の心に届きました。「やさしい歌声でいやされました。静かなおだやかな主張が心に届きました」「毎回、平和への想いをこめた合唱すばらしいです。」「原発、食べること まさにその通り。歌にのせて伝えるとぐっときた。これからも発信して行ってほしい。」

フィナーレーは、全員で「故郷」を歌い平和への願いと大切さを共有できた1日でした。



2012年度

岡山県生協連の取り組み課題

2012年度は、ふだんの組合員のくらしと生協事業の安定を図りながら、生協の存在価値と役割を再確認し、市民社会に広く認知していただく特別な年、国際協同組合年です。

県生協連は、会員生協間連帯の舞台として、また、地域諸団体と協同して「まちづくり」をすすめ、子どもから高齢者まで安心できる持続可能な社会をつくるため、県民のくらしをネットワークでつなぎ、行政・議会とのパートナーシップを大切に、相互扶助組織として役割発揮に努めます。

1. 会員生協の組合員、職員、役員が参加する各種の学習・研修交流等に取り組みます。

- ① 県生協連・会員生協役員研修交流会、組合員活動交流集会等を行います。
- ② 他生協訪問研修は(海外を含む)、実施の方向で検討します。

2. 行政、議会、他団体(協同組合、消費者団体、市民団体など)との渉外・交流を通して親睦を深め、信頼関係を強めます。

- ① 県内の協同組合連絡協議会に結集し、協同組合(生協)のビジビリティ(視認性・認知度)を高め、国際協同組合年を盛り多いものとしします。
- ② 生協の要望や提言をもとに、県や国の生協所管部署等との情報・意見交換を行います。
- ③ 国や県が行う意見交換会・懇談会、また、パブリックコメント募集への意見を提出します。
- ④ 県議会議員との懇談会、知事との懇談会を実施し、生協の理念や活動の相互理會を図ります。
- ⑤ 県消団連やNPO 消費者ネットおかやまに結集し、事務局機能を担って諸活動に取り組みます。
- ⑥ ホームページ、せいきょう連ニュース・会報は、情報提供の大切な手段として充実を図ります。

3. 身近なくらしにかかわる食の安全、消費者被害、環境、福祉、防災、まちづくりなどとともに平和、社会保障と税、憲法などについても学習機会を設け、日本生協連(中四国地連)や消団連・「NPO 法人消費者ネットおかやま」(全国・県)などと連携して取り組みます。

- ① 県が進める「新岡山県消費生活基本計画」、「食の安全・安心推進計画」並びに「食育推進計画」に対して、消費者団体としてその実行に努めます。
- ② 関係団体との提携を視野に、防災・災害対策、BCP(事業継続計画)に関する学習・訓練機会を設けるとともに、「ボランティア活動」等に係るネットワーク参加を検討します。
- ③ 生協組合員のみならず、地域消費者の利益を守るため、消費者被害の未然防止などにつながる「消費者啓発」の取り組みを強めます。
- ④ 「核兵器禁止条約」の早期実現に向けて、県内自治体首長の平和市長会議への加盟促進や「県民平和のつどい」などに取り組み、会員生協の「平和学習」とも連携して、相応の役割を担います。
- ⑤ 原発に頼らない「再生可能エネルギー」等への政策転換について学習機会を設けるとともに、(財)おかやま環境ネットワークの構成団体として、積極的に参画します。

4. 生協間相互の、また会員生協共通の情報交換の場を有効に活かし、学習と実践を通して、生協連帯のメリットを最大限発揮します。

- ① 人口減少・高齢社会の下で、県民の豊かなくらしとまちづくりをめぐる生協に何ができるか、将来に役立ち活きる事業とは何か、などについて福祉部会として継続協議します。
- ② 組織委員会、医療部会、教育担当者会議の充実で、会員生協間の連帯強化を図ります。
- ③ 生協の社会的信頼を確保する上で、コンプライアンス、経営管理の強化が欠かせません。会員生協監事監査研修会を適宜開催します。

2012年度 役員補充選任について、理事2人と監事2人が選任されました。

原田美智子理事(女性枠) …… 三井造船生協理事
近藤 清志理事 …… おかやまコープ理事
青井 昭洋監事 …… 岡山県労済生協管理部長
田中 照周監事 …… おかやまコープ常務理事

退任役員

理事 岡本多賀子 …… (三井造船生協)
監事 河内 俊幸 …… (セイレイ工業)
監事 近藤 清志 …… (おかやまコープ)

第1回理事会を開催し、専務理事に近藤清志を互選しました。